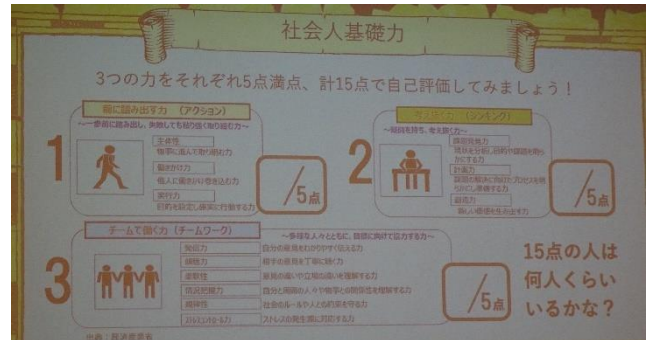


ハローキャリアワーク通信（中学生編）



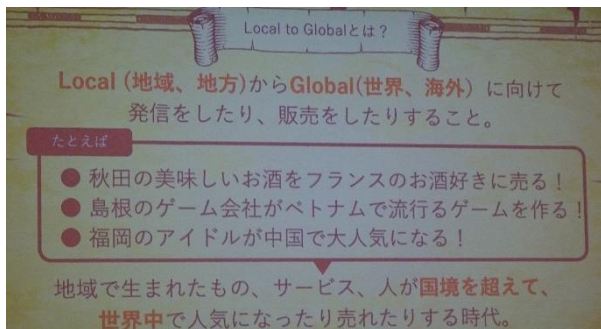
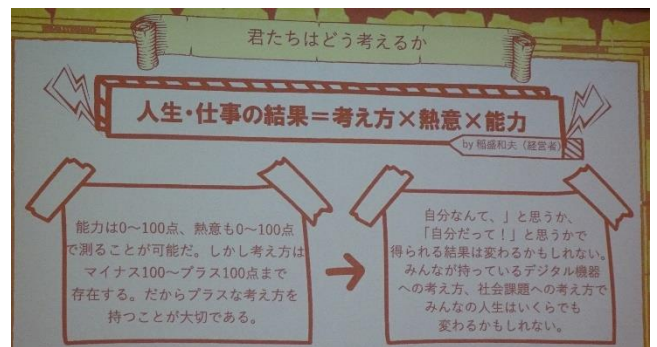
9月2日（土曜日）午後からは中学生の部として、午前と同様の課題で「子どもの視点で社会を変える」をコンセプトに株式会社 BYD 代表取締役の井上創大氏による「起業家教育講座」が行われました。

初めは、井上氏の自己紹介から始まり（自己紹介の仕方を教えている）



各グループ内で子ども同士の自己紹介が始まりました。そして、今回は持参したタブレットを使用するため、センターのWFに接続し、自由に使えるよう

にしました。そして、今回のテーマである「アントレプレナーシップ」についての話になりました。この力がこれからの社会で必要になると井上氏は、Chat GTP の話、社会人基礎力、モバイル広告で1億円の収入を得ている16歳の外国青年、アプリを開発した16歳の日本の女性などの例を示し、「人生・仕事の結果」という式を表し考えさせました。そして、現在起業して成功している例示として「Local to Global」ということを、話しま



した。すなわち、ICTの進化がグローバル化によっていつでも、どこにでも、瞬時に様々なサービスなどが届けられる（受け

取れる）時代になっているとのことでした。そして、海外で流行している日本の有名人や製品について自由に話し合う場を設定しました。（頭を柔らかくするために：電通では、キャッチコピーを短時間に200程度要求されるとのことです）しかし、なかなか出ませんでした。（日常の訓練が必要と感じました。）その後、いよいよ中学生の部の課題です。「日本製品の中で、これから海外で流行そうものを探そう」です。そして、この商品の「動画とHP」の作成です。参加人数が少なかったため、スタッフの方が加わり、話し合いと作成が開始しました。商品は「蕎麦」に決まり、キャンバを取り入れ、分担して作成しました。時間は小学生の部より多めに設置されましたが、なかなか捗りませんでした。しかし、段々と集中して取り組み始めると拘

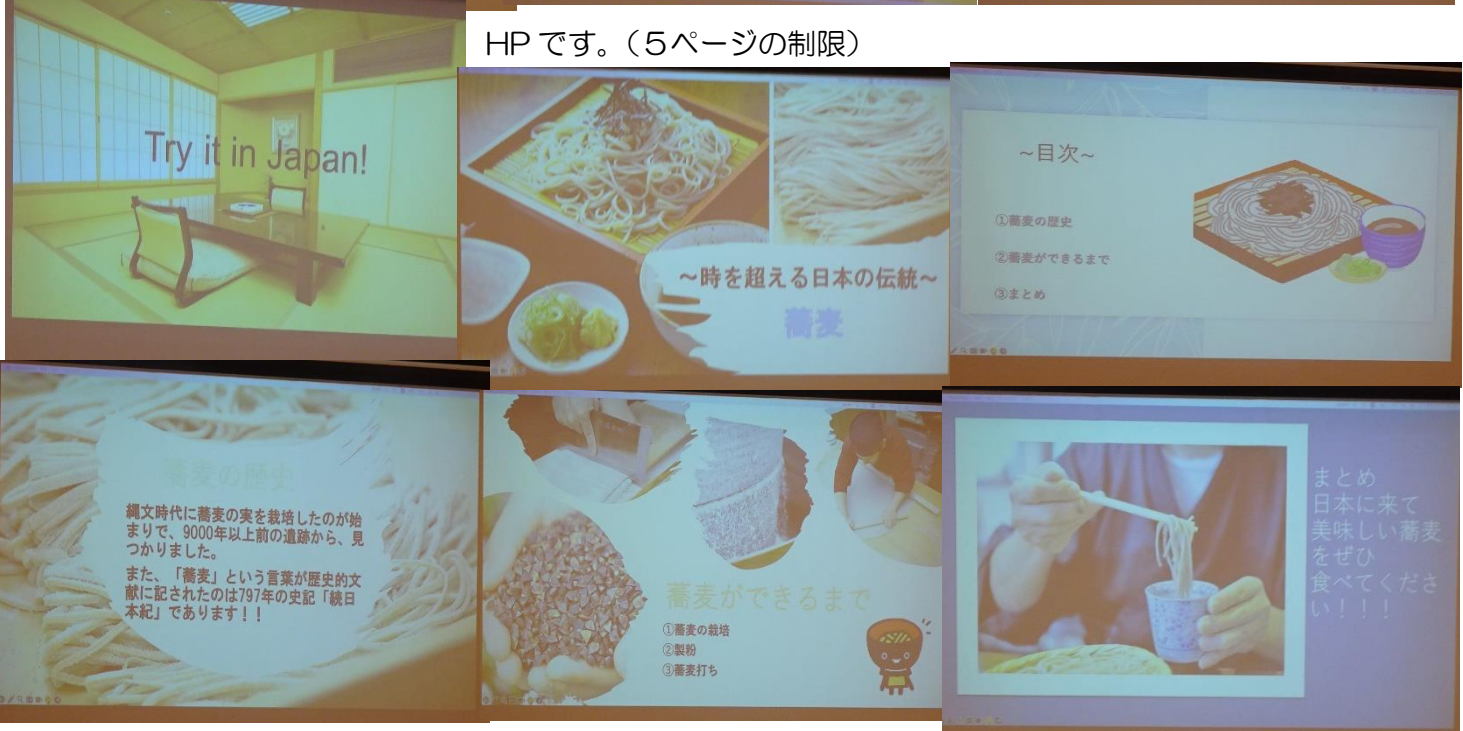
りがめ、「もう少しとか、いや違うかな」など相手に向かって話しながら進めていました。



以下出来上がった動画の一部



HP です。(5ページの制限)



この制作には、70分程度の時間をかけましたが、動画も30秒ほどで、BGMも入り、流れるように「蕎麦」の美味しさを伝えていました。また、HPも、写真から分かるようにメッセージとして「時を越える日本の伝統」として、蕎麦の歴史、種からできるまで、食している様子など見ごとに完成させました。これが今の子どもたちの力です。